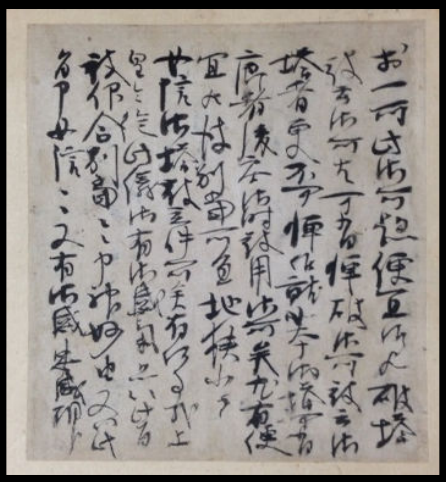
１．個人データ

職名：講師　　氏名：林田 定男　　学位：博士（文学）　e-mail：sadao@kobe-kosen.ac.jp

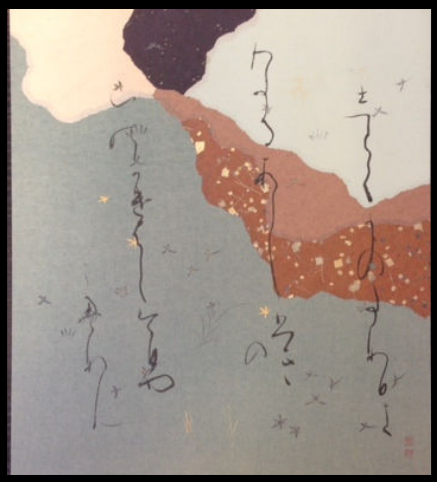
２．教育・研究テーマ

【日本語表記史の研究】

自明のことですが、アの音には「あ」、イの音には「い」、というようにひとつの音に対してひとつの平仮名が使用されています。つまり、現在使用されている平仮名は、音声と文字との一対一の対応が原則となっているのです。しかし、日本語表記の歴史からみると、このような状態になってからの日は浅く、近代以前はひとつの音に対して複数の平仮名が存在していました。そのような平仮名のあり方を、中古・中世の文献（藤原定家筆およびその周辺の資料）を主対象にして、調査・研究しています。



藤原定家筆　小記録切



安東聖空筆　小色紙

【高等教育機関における国語教育についての研究】

社会人に求められる力として、表現力、論理的思考力、コミュニケーション力が喧伝されています。このような力は、国語力と換言することも可能であるように思います。このことが首肯されるならば、国語力の低下は、ことばを知らない（語彙力低下）、漢字を書けない（漢字力低下）、といった知識レベルにとどまる問題ではないといえそうです。学生の将来を見据え、社会人として必要な力を効率的に高める授業方法および教材内容について、研究・開発をおこなっています。

３．その他のデータ

（１）教育・研究技術相談可能分野

・日本語の文字について
・古典籍（和文資料）について
・日本書道史（定家流）について
・文章教育について

（２）出前講義・公開講座，講演可能テーマ

・古筆切入門
・定家筆資料
・平仮名の歴史（仮名書道史）
・身近な風景から日本語を見直す

（３）キーワード

・日本語学、文字・表記、日本文学、国語教育、古筆学、日本書道史、藤原定家